

2025 年度 2 章 セルフ学習問題

解答用紙に、(Q*)への解答を記入してください。複数正答の可能性もあります。その場合は正答表に○○/◎◎などと併記してあります。同義であれば正答とします。

解答用紙は担当者に提出してください。第 2 章の講義の出席と成績になります。

- 1 インスリンの作用によってブドウ糖が細胞内に取り込まれる臓器は(Q1)と(Q2)とである。
- 2 問 1 に述べたインスリンに依存して糖を取り込む各臓器の細胞膜にある糖輸送担体は、GLUT(Q3)である。
- 3 2 型糖尿病において、インスリン抵抗性の強い症例の病初期では、インスリン分泌が(Q4)する場合がある。
- 4 2 型糖尿病の発症進展機序には、生まれついた体質としての(Q5)因子のほか、生存環境の中でその個体に後天的に影響する(Q6)因子がある。
- 5 2 型糖尿病の初期では、まず食後のインスリン(Q7)分泌が低下する。したがってまず食(Q8)の血糖が上昇してくる。
- 6 重症高血糖における糖毒性の病態では、血糖が(Q9)いよりもインスリン抵抗性は高まり、インスリン分泌は(Q10)する。
- 7 2 型糖尿病の経過で第 3 期(空腹時血糖も上昇)に至ると、膵β細胞の容積は(Q11)し、その機能は徐々に(Q12)する。
- 8 一つの生物種における全遺伝子配列のことを(Q13)という。
- 9 遺伝子配列とは独立した、遺伝子が存在する染色体の構造や修飾が関与して遺伝発現を制御する(Q14)制御も重要である。
- 10 BMI より(Q15)肥満のほうが 2 型糖尿病との関連が大きい。
- 11 糖尿病はうつ病の発症リスクを(Q16)させ、うつ病は糖尿病の発症リスクを(Q17)させる。
- 12 糖尿病において、血中の HDL コレステロールは(Q18)する。
- 13 コーヒーは糖尿病の発症を(Q19)する。
- 14 過食と運動不足が解消されないまま血糖降下薬の一部やインスリンで血糖を下げると、その分の余剰のブドウ糖は(Q20)にはいり、貯蔵される。